

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別：保育所

事業所名：大町市たけのこ保育園

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】内容評価項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点（実施している場合は■）	コメント
A	1 保育内容	(1) 保育課程の編成	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 保育課程は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。 ■ 2 保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。 ■ 3 保育課程は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。 ■ 4 保育課程は、保育に関わる職員が参画して編成している。 ■ 5 保育課程は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>一人ひとりを大切に、認めあい、高め合い、育ちあう教育及び保育を目指し、保護者から信頼され地域に愛される園を目指すという理念のもと、自然と関わって遊び、思いやりの気持ちを持てる子どもの保育を目標に上げて、全体的な計画ができています。</p> <p>[検討課題]</p> <p>自然や伝統文化の中で子どもの育ちを豊かにし、集団の中での個の育ちが更に進むような保育方針へと、目の前の子ども達と作りだせるような、保育内容の検討・編成も期待したい。</p>
		(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 6 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を、常に適切な状態に保持している。 ■ 7 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。 ■ 8 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。 ■ 9 内装等には、木材を利用している。 ■ 10 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。 ■ 11 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。 ■ 12 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>広い庭園、遊具、ブルーベリーなどの食べられる樹木があり、望まれた自然環境である。 また、木材が活かされた園舎で各部屋は広く、リズム室は子ども達が十分に遊べるスペースが確保されている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>空部屋を活かして子ども達が自由に遊べる空間を更に増やすなど、工夫や確保は容易と思われる。</p>
		② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 13 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。 ■ 14 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。 ■ 15 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。 ■ 16 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。 ■ 17 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。 ■ 18 せかず言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>現在27名の小規模集団であり、全ての子どもの気持ちや保護者の家庭環境まで十分に把握することができており、子ども達がゆったりとした生活を送ることができている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>子どもの気持ちを肯定的にとらえる言葉の掛け方、子どもの願いを受け止める保育の工夫を更に期待したい。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
		③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 19 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。 ■ 20 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。 ■ 21 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。 ■ 22 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。 ■ 23 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。 	<p>[取り組み状況] 年令別に基本的な生活習慣(食事・排泄・睡眠・着脱・清潔)が身につけられるように計画を立て、援助している。</p> <p>[検討課題] 一人ひとりの子どもの発達にあった言葉掛けをして、生活習慣が自立できるような個別指導計画の立案が期待される。</p>
		④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 24 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。 ■ 25 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。 ■ 26 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。 ■ 27 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。 ■ 28 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。 ■ 29 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。 ■ 30 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。 ■ 31 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。 ■ 32 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。 ■ 33 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。 	<p>[取り組み状況] 子どもの遊びが発展できるように、園庭の東屋の下に砂場を作ったりと、環境の整備が行われている。 また、草取り交流、ふれあい運動会など、地域の人達との交流も多く、子ども達を見守ってくれる効果ももたしている。</p> <p>[検討課題] 地域との協力関係の豊富さによる行事も多く、環境を活かした散歩等が少ない現状もあるが、恵まれた自然環境や小規模の特性を更に活かし、子どもが自然に触れる遊びを中心とした保育の工夫が期待される。</p>
		⑤	一乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		<ul style="list-style-type: none"> □ 34 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。 □ 35 0歳児が、安心して、保育主等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。 □ 36 子どもの表情を大切にし、応答的な関わりをしている。 □ 37 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。 □ 38 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。 □ 39 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。 	<p>[取り組み状況] 地域性もあり、0歳児の受け入れを行っていないため、非該当とする。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
		⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 40 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input type="checkbox"/> 41 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 42 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 43 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 44 保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 45 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 46 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>一人ひとりの子どもの願いを受けとめる保育を目指し、子どもの発達を促す、指先を使う遊びを考えてペットボトルのふたでのマグネット作り、洗たくバサミを利用した手作り玩具などを活用している。</p> <p>また、天気の良い日は戸外での遊びを中心にして、斜面を登ったり降りたりと、身体づくりを楽しんで生活している。そして、連絡帳を通して日々の子どもの様子を保護者に伝えている。</p> <p>なお、プレチェックの重要性を意識して、視認のみからチェックシートを作成しての記録とする仕組みが始まった。</p> <p>[検討課題]</p> <p>未満児の探索活動への工夫を進めて、以上児における園外活動が更に育ちに効果を与える配慮も期待したい。</p>
		⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 47 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 48 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 49 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input type="checkbox"/> 50 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>3～5才児まで19名の混合保育である。</p> <p>年少の子は年上の子の行動をみてルールを覚え、年長の子は年少の子の面倒をみたりして思いやりの気持ちが生まれ、子ども同士の良い関わりができており、生活面での興味も広がっている。</p> <p>なお、子どもとの協同的な活動は小学校へは伝えているが、保護者や地域への周知は消極的である。</p> <p>[検討課題]</p> <p>同じ空間での生活なので、時間や曜日を決めての年令毎に異なる活動を取り入れるなど、危険や死角を考慮した保育の工夫は期待したい。</p>
		⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		b)	<input type="checkbox"/> 51 建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 52 障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 53 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 54 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 55 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 56 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 57 職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。 <input type="checkbox"/> 58 保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>支援が必要な子どもに対しては、巡回相談などで発達心理士や理学療法士からの助言を得て支援するとともに、保育士は保護者と常に連携して、情報の共有化を図り保育を提供している。</p> <p>かかわりの困難な保護者に対しては、できるだけコミュニケーションを取り、寄り添いながらの助言や見守り支援に努めている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>発達障害等については定期的な研修や園内での勉強会を充実させ、理解を更に深めて保育実践に活かすなど、併せて、他の保護者の理解も高める取り組みが期待される。</p> <p>そして、合理的配慮を意識した障害児保育の実践を、園全体の保育の質の向上に繋げる取り組みへの進化も期待したい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
		⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		b)	<input type="checkbox"/> 59 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 60 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 61 子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 62 年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 63 保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 64 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 65 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。	<p>[取り組み状況] 三世同居や農業従事者などの地域性もあり、季節により変動がある保育園であるが、保育士の手厚い援助の下で、ゆったりと生活している姿が見られる。また、おやつなどが必要な時間まで居る子どもはいないものの、時には夏におやつを出したり、子ども達の状況により、臨機応変の対応をしている。</p> <p>[検討課題] 長時間保育は日中保育の成果が一番見られる機会である。計画に沿った育ちが進んでいるかなど、延長保育日誌などの取り組みで、指導計画の変更や保育士自身の振り返りに活かすなどの意識も期待したい。</p>
					⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a)
	(3) 健康管理	① 子どもの健康管理を適切に行っている。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 71 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 72 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 73 子どもの保健に関する計画を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 74 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。	
					<input type="checkbox"/> 75 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。 <input type="checkbox"/> 76 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。 <input type="checkbox"/> 77 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 78 保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
		② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。		<input checked="" type="checkbox"/> 79 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。 <input type="checkbox"/> 80 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 81 家庭での生活に生かされ保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。	<p>[取り組み状況] 年2回の健康診断、歯科検診の結果を保護者に知らせ、受診や治療が必要な時は、その後についても把握し、健康保持に努めている。</p> <p>また、発育測定の推移においては栄養士から助言を得て、給食への配慮なども行っているものの、保護者との統一した指導の困難さもあり、苦慮している現状である。。</p> <p>[検討課題] 未満児の園での歯磨きは保育士が実施しており、以上児においても歯科検診の結果により指導計画に載せ、本人が行った後、磨き残しがないかのチェックなども必要であろう。</p>	
		③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/> 82 アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 83 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 84 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 85 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 86 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。 <input type="checkbox"/> 87 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>アレルギー対策はマニュアルに沿い、医師の指示のもとでの取り組みをしている。</p> <p>そして、確認表や台拭きも別とするなど、細心の注意を払っている。</p> <p>また、除去食、代替食については事前に保護者の了解を得て、必要に応じて連絡し合い安全の確保に努めている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>調理員だけでなく保育士も慢性疾患やアレルギー疾患の知識や理解を深めるとともに、アナフィラキシー症状の進行を緩和するエピペンの使い方の習得は期待したいところである。</p>	
	(4) 食事	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。		<input checked="" type="checkbox"/> 88 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 89 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 90 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 91 食器の材質や形などに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 92 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。 <input checked="" type="checkbox"/> 93 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 94 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 95 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。	<p>[取り組み状況]</p> <p>食育年間計画を基に年齢に相応しい食生活習慣の習得や、食への関心を高める取り組みを行い、保育課程、指導計画にて評価を行っている。</p> <p>そして、保護者等へは給食だよりや献立表の配布、サンプルケースの掲示で、その日の献立や食材産地の明示、レシピの紹介等も行っている。</p> <p>また、子どもの体格に応じて足台を設けたりするなど、食する姿勢などへの配慮もある。</p> <p>[検討課題]</p> <p>身体的な発育に課題のある子どもについては、盛り付け量と残食量の把握を進めて、給与・摂取の栄養量にも注力した配慮も期待したい。</p> <p>また、小規模であり、空き部屋を活用しての寝食分離の保育も可能と思われる。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 96 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。 ■ 97 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。 ■ 98 食事の内容は、県産の農畜産物等を利用したものである。 ■ 99 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。 ■ 100 季節感のある献立となるよう配慮している。 ■ 101 地域の食文化や行事食などを取り入れている。 ■ 102 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。 ■ 103 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>栄養士が立てた献立表、給食だよりを各家庭に配布して共有し、給食参観で子どもと一緒に給食を食べながら、園での食事の様子を知る機会としている。</p> <p>子ども達は畑で野菜を育て、興味や収穫の喜びへ繋げるなどの取り組みや、毎月の給食反省会及び検討会が開かれ、給食についての話し合いがもたれている。</p> <p>なお、冬季については保温庫の活用もあり、温かいご飯を食することが可能である。</p> <p>[検討課題]</p> <p>園と家庭との食生活の継続性が難しい面もあり、保護者からの声や意見を集め、保健師・栄養士・保育士等が専門性を活かした分かりやすい説明で、納得の得られる信頼関係を更に深まる取り組みが期待される。</p>
	2 子育て 支援	(1) 家庭との緊密な連携	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 104 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。 ■ 105 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。 ■ 106 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。 ■ 107 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>園の説明会やお便りの方針や意図を伝えるとともに、行事や参観日等で子どもの様子を観てもらっているが、保護者との十分な情報交換や連携・理解においては温度差が視られる。</p> <p>[検討課題]</p> <p>連絡帳の記載内容の充実や、懇談会・集会を通して保護者と保育士が保育や育児について話し合える機会の拡大は更に必要と思われる。</p>
		(2) 保護者等の支援	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 108 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。 ■ 109 保護者等からの相談に応じる体制がある。 ■ 110 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。 ■ 111 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。 □ 112 相談内容を適切に記録している。 □ 113 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>日々の登降園時や個別面談等で相談や悩みについて保護者に寄り添い、安心や前向きになれる支援を心掛けている。</p> <p>また、必要に応じて相談員に助言を求めるようにしている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>保護者とのコミュニケーション機会の拡大、気軽に相談できる園及び保育士の姿勢など、小規模の特性を活かした、より信頼関係が深まる配慮が期待される。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 114 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 115 虐待等権利侵害の可能性がある職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 116 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。 <input type="checkbox"/> 117 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 118 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 119 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。 <input type="checkbox"/> 120 マニュアルにもとづく職員研修を実施している。	<p>[取り組み状況]</p> 虐待等の早期発見のため身体状態の観察、子どもの表情、様子などに注意を払っている。 また、保護者の実態や精神面を把握して支援を行ったり、家庭相談員に繋げて防止や予防にも努めている。 <p>[検討課題]</p> 虐待等権利侵害に関するマニュアルを整備し、それに基づいての研修で早期発見、早期対応となる組織的な取り組みを期待したい。 また、通告制度の周知・理解だけでなく、支援者自身が虐待等を無意識のうちに行う可能性もあり、具体的なチェックリストなどの活用で意識・自覚を高めるなどの取り組みも必要であろう。
	3 保育の質の向上	(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 121 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 122 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 123 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。 <input type="checkbox"/> 124 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 125 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 126 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。	<p>[取り組み状況]</p> 保育計画に基づき日誌・週案・月案にて保育の過程、実践の振り返りを実施するとともに、年2回の公務員としての自己評価を行って自らを振り返る機会としている。 <p>[検討課題]</p> 保育実践の振り返りに注力した今回の内容評価項目に沿った自己評価や、保育士自身が行う園の自己評価で、それらを次年度の保育に活かす取り組みなどを進めて、翌年度の事業計画・前年の事業報告へと活用できる環境の整備が期待される。